

津波対策の強化について

○避難指示発令の考え方の整理

津波の発生から到達までの時間的猶予がないことから、津波情報（津波警報、大津波警報）の発表と同時に起動するJアラート連動の情報発信システムによる海岸部への避難の呼びかけをもって、市からの「避難指示の発令」とすることに変更。

1 津波情報の発信の多重化

（1）緊急告知FMラジオの追加配布

町内会や避難行動要支援者などに配布（無償貸与）している緊急告知FMラジオを津波浸水想定区域の世帯（約1,200世帯）を対象に新たに配布する。

（2）情報発信ツールの拡充

ラジオを持たない方への情報発信ツールとして、警報発表時に自動でスマートフォンなどに津波情報を発信する仕組みを新たに導入

（新規配信ツール）市公式LINE、ながおかDメールプラス、X（旧Twitter）、
携帯電話（登録者）への一斉架電

※これまでどおり、緊急告知FMラジオ、屋外拡声器でも自動配信するほか、ホームページなどでも情報発信

2 津波監視カメラの設置

迅速かつ正確な状況把握のために監視カメラを設置

（寺泊地域海岸部に応急設置1台 → その後4台を設置）

3 緊急告知FM放送設備の増設

津波避難を繰り返し呼びかけるための緊急告知FM放送の発信設備を寺泊地域内に増設
（設置場所（予定）：消防寺泊出張所）

（アオーレ長岡、消防本部、FMながおかに設置済）

4 市民への意識啓発

（1）津波ハザードマップの改訂

津波避難行動の考え方をわかりやすくまとめた内容に更新し、改訂版を寺泊地域の全世帯に配付（作成部数5,000部）

※緊急対応として、現行のハザードマップを津波浸水想定区域の各世帯に配付

（2）津波の避難行動学習会の開催

防災団体による津波避難行動の学習会を地区別に開催

（3）避難路の確認や地域での避難訓練実施の働きかけ

5 一時滞在者（観光客など）向け津波避難の周知

（1）津波避難啓発ポスター作成

津波避難の啓発や避難場所を周知するポスターを作成し、宿泊施設や商店などに掲示

（2）既設の津波避難標識の更新

設置から年数が経過した津波避難標識（看板）を更新

6 緊急避難場所の環境確保

緊急避難場所（地区集会所など）への備蓄物資配備を検討